バスフローターボート
DFB101

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

組立方法はWEBページ上に動画や画像でわかりやすく解説しております。
詳しい組立方法を知りたい方はこちらから各製品ページをご確認ください。

DOPPELGANGER OUTDOOR　検　索

http://www.doppelganger-sports.jp/

DODの新製品情報などについては下記SNSもご覧ください。

※DOPPELGANGER OUTDOORは地球環境保護のためペーパーレス化を推進しています。

ご使用上の注意（ご使用の前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた製品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。

【安全にお使いいただくために】

- 本製品は、フィッシングを目的として作られたものですので、決して本来の目的以外には使用しないでください。
- 本製品は使用者にとって落水などのリスクが生じます。常識的な行動や、本書にある注意事項を守ることで、リスクはある程度減らすことはできますが、リスクが完全になくならない、ということをご理解いただいた上でご使用ください。
- 各部の構成をよく把握し、組立順序に従って取扱ってください。
- 解体・撤去の際には、組立の逆の順序で必ず行い、手や指を挟まないようご注意ください。
- 組立設置及び、解体撤去に際しては、安全の為、手袋を着用してください。

※本製品は救命用具ではありません。

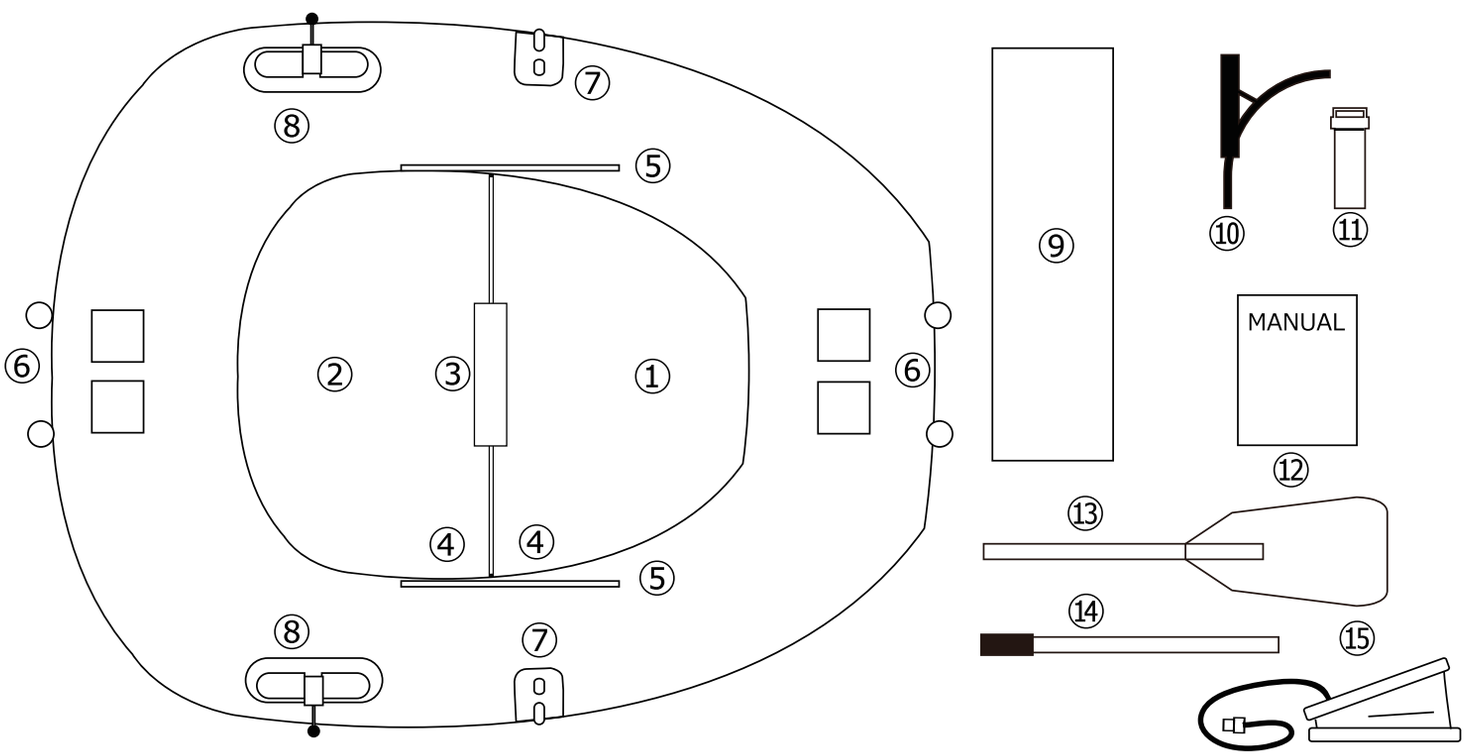
⚠ 警告	死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
強制指示	必ずライフベストを着用してください。
禁止	以下の場所では使用しないでください。事故の原因となる可能性があります。海、河川など流れのある場所、他の船舶の曳波がある場所、大きな湖など波のある場所や波が予想される場所、その他危険な場所。ボートが禁止されている場所。
禁止	雨天時、強風時、また、それらの荒天が予想される時は、使用しないでください。遭難の原因となる場合がございます。
禁止	飲酒後、体調の悪い時、泳げない方は使用しないでください。船内で飲酒しないでください。落水、溺れる可能性があります。
強制指示	日射病、熱射病、脱水症状にならないように気をつけてください。 疲れを感じた際には、早めの休憩を取るようにしてください。
禁止	本製品は一人用です。二人以上で使用しないでください。最大積載量は130Kgです。最大積載量を超えて使用しないでください。転覆する可能性があります。
禁止	16 歳未満のお子様はご使用にならないでください。 思わぬ事故の原因となる可能性があります。
強制指示	本製品のいずれかの部品が破損した場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。
禁止	船内では立ち上がらないでください。バランスを崩し、転覆などの原因となる可能性があります。
禁止	船外機は推力 55 ポンド以下のエレクトリックモーター以外はご使用にならないでください。急加速、急旋廻はしないでください。転覆の原因となる可能性があります。

⚠ 注意	傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。
🚫	荷物の運搬、ラフティングなど釣り以外の目的では使用しないでください。 思わぬ事故の原因となる場合があります。
強制指示	空気注入の際は必ず付属のポンプを使用してください。また、空気を入れすぎないでください。破損の原因となります。周囲にかすかにシワが残る程度が適量です。 ※高圧ポンプや、自動車の排気ガス、口での空気注入などはしないでください。
禁止	本製品を炎天下に放置しないでください。空気の膨張により気室内圧が上昇するとともに、熱により変形する可能性があります。
禁止	釘やくい、砂利、貝殻、ガラス片、金属片、木片など、鋭利なものと 接触させないでください。特に釣り針には十分にご注意ください。船内に釣り針を落とした場合は必ず回収してください。座礁の可能性がある浅瀬では使用しないでください。また、タバコなど火気を船内で使用したり近づけないでください。 パンクや焼損の原因となる可能性があります。
強制指示	釣り具、カメラ、携帯電話などは、脱落防止コードなどを使用し、水に落ちないように搭載してください。また、水に濡れる可能性がある為、防水パックなどをご使用ください。貴重品なども船内に持ち込まないでください。落水、水没などの可能性があります。 ※本製品使用中の釣り具、カメラ、携帯電話などの財産の紛失、水濡れなどによる破損、故障につきましては、いかなる場合でも保障の対象外となります。
強制指示	本製品を使用する前日に、付属のポンプで本製品に空気を注入してそのまま１日放置し、空気漏れがないか確認してください。 ※空気漏れの確認は使用する都度、行ってください。
強制指示	※保管上の注意：ご使用後は空気を完全に抜き、真水で汚れを落とし、陰干ししてから湿気の少ない場所に広げて保管してください。また、本製品に対してベンジン・シンナーなど揮発性のものを使用したり、高温になる場所での保管はお避けください。 ※廃棄上の注意：廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

収納、保管について

■使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食、劣化、防水/撥水機能の低下の原因となります。
■汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
■シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
■高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
■本体や収納袋は洗濯しないでください。
■幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
■廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

各部の名称およびセット内容

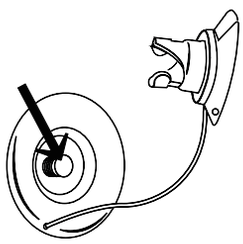


①	船首側フロアーボード	⑨	スォート（座板）
②	船尾側フロアーボード	⑩	モーターブラケット　×　1
③	フロアーボードジョイント（アルミ）	⑪	リペアキット
④	バルブ	⑫	マニュアル（本書）
⑤	スォートレール	⑬	オール先端　×　2
⑥	モーターブラケットマウント　×　2	⑭	オールポール　×　2
⑦	オールホルダー	⑮	フットポンプ
⑧	オールロック（オール取り付け金具）		

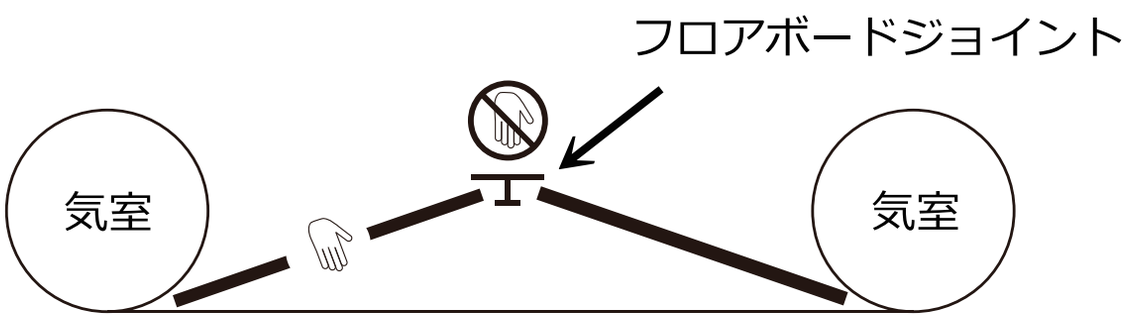
※ モーターブラケットは１ヶ入りです。

組立方法

1. 片付ける時のために、どの様に折り畳まれているか確認してください。
   平らな場所で本製品を広げてください。
2. バルブは右図のようにねじ込み式のキャップが付いております。中央のボタン（矢印部分）を押すと弁が解放され排気します。再度押すと弁が閉じます。弁を閉じた状態でフットポンプのノズルをバルブに取り付け、空気を入れてください。



3. 各気室に空気を約 3 割程度注入し、フロアーとチューブ（気室）の境界線に合わせて、フロアーボードを差し込みます。生地が伸びきらずに入りにくい場合は、一度、完全に膨らませて船底を伸ばしてから、排気してフロアボードをセットしてください。
4. バルブキャップをバルブにねじ込み、指を挟まないように注意しながら、フロアーボードを持ち上げるようにして、フロアーボードジョイントを差し込んでください。
   ※フロアーボードジョイントは幅の広い方が上になります。
   ※フロアーボードを持ち上げる時は舷側がわを持ち上げ、絶対に各ボードの間に手や指を入れないでください。挟まるなどして危険です。



5. バルブキャップを外し、各気室（チューブ）に約半分程、空気を入れてから、スォートの溝をスォートレールに差込むようにして取り付けます。スォートはスォートレールの幅で前後に移動できます。また、モーターブラケット使用する際は、この時にモーターブラケットも取り付けてください。
   ※モーターブラケットは船首もしくは船尾に取り付け可能です。
   ※空気を入れすぎるとモーターブラケット、スォートの取り付けが難しくなります。
6. 各気室に空気を満たし、バルブキャップを閉めてください。
7. オールは必ず、オールロック（ねじ込み式）にて固定してください。

撤収方法

8. オール、モーターブラケット、スォートを取り外してください。真水で汚れを落とし、乾燥させ、両舷からキャリングバッグより少し狭い幅に折り畳んだ後、丸めてください。
   ※オールポール内に水が入っている場合があります。必ず、乾かしてください。

不具合かなと思ったら

空気が抜ける場合

1. バルブ、バルブキャップが汚れていないか確認してください。
2. バルブキャップが正しくまっすぐにはまっているか確認してください。
3. 目視でダメージがないか確認してください。
4. 生地の合わせ目を確認してください。
5. 石けん水で空気漏れを探してください。

※　気温の変化により気室内の圧力は変化します。

船内に水が入る場合

1. 目視で船底を確認してください。
2. フロアーボードを設置せずに、組立てた後、船内に水を入れ、漏れを確認してください。

※　オールや釣り具の水滴が船内に入ることがあります。

※　本製品は二気室構造になっており、両気室から同時に空気が漏れない限り、沈没しません。

リペアキット使用方法

1. リペアキットには、「パッチ」「接着剤」が含まれます。パッチは、修理する箇所より約 2.5ｃm程度大きく、角を丸めて切ってご使用ください。
2. 修理する箇所周辺の水分、油汚れ、埃等を落とします。このとき、表面に予めサンドペーパーをかけておくと接着剤の乗りが良くなります。
   ※表面に油脂等が付着したままだと接着力が非常に弱くなります。生地表面に油脂が付着している場合は中性洗剤で表面を洗浄するなどして脱脂を行ってください。
3. 生地・パッチ両側に接着剤を塗布します。接着剤は補修する面に対し、薄く均一に塗ってください。
4. 接着剤を塗布した後、接着剤が乾燥するまで待ちます。表面に粘りが感じられなくなるまで乾燥させた後、生地とパッチを貼りあわせます。このとき、生地とパッチの間に異物を挟まないよう、またしわにならないように注意してください。
5. 生地とパッチを貼りあわせた後、両側から強く圧着します。生地とパッチとの間に隙間があると再度空気漏れの原因となりますので、確実に圧着を行ってください。
6. 24 時間以上乾燥させてから、リペア状態を確認の上、ご使用ください。

※リペアキットご使用の際は換気をよくし、火気には十分ご注意ください。長時間においをかぐと健康を害する恐れがあります。使用中、使用後は十分に換気を行ってください。幼児の手の届かない場所に保管してください。本製品の接着用途以外には、使用しないでください。